

4月は別れの季節 退職する人や去っていく友がいる

4月は別れと出会いの季節です。3月末には、東北の被災地の自治体でも、全国から応援に来た職員の離任式が行われました。後任の応援職員をこの3月で打ち切る自治体もあります。去年は北海道と関西・四国地方が、地震や水害に会いました。東北に応援職員を派遣していた自治体も、自分のところの災害復旧の仕事が手いっぱいになって、もう東北の被災地に職員を派遣する余裕はないのです。

私は檜葉町に来て、3年になります。3月で、親しくしていた応援職員の人達も離任したり、他の自治体や新たな職場に移動したり、退職しました。私にとっては、分かれる人は多いのに、出会える人が年々少なくなって来ました。

私は福島県の任期付き派遣職員で、最長5年契約の1年毎の更新です。「上田さん、任期が更新されなかったらどうするの」と聞かれて、「自由契約になったら、FC宣言する」と言いました。イチローの気持ちが、よくわかります。

4月は出会いの季節 新人や新しく友となる人がやって来る

4月1日には、多くの自治体で、新規採用職員の辞令発令式が行われました。フレッシュな新人職員を見て、私も48年前の若かりし頃を思い出しました。新人職員は、一人ずつ、町長の前で宣誓をします。宣誓文の中に「私は日本国憲法を遵守すると共に、地方自治の本旨に則り」があります。

しかし、首相は憲法を蹂躪して戦争にひた走り、与党の国会議員や官僚は憲法を蹂躪して付度にひた走り、地方自治体の職員だけが憲法を遵守する。この現実には、私は思わず笑ってしまいました（不謹慎）。ちなみに、安倍自公連立政権と、いち早く別れの季節が来ることを望みます。

福島では、桜は4月中旬頃に満開になります。入学式の時には、まだ桜は咲いていません。私は満開の時は気持ちが高揚して、桜吹雪で花びらが散った時には、気持ちが寂しく

くなります。福島の桜の名所の多くは、1本だけで立っている桜です。私は桜並木のように群れている桜も好きですが、1本だけで孤塁を守っている枝垂桜が一番好きです。

富岡町の夜ノ森の桜は、今年はライトアップされます。全長3,000mの内で見ることが出来るのは700m、残りの2,300mは帰還困難区域の中です。それでも桜は、原発事故に関係なく、毎年一斉に花を咲かせてくれます。一方、富岡町・大熊町・双葉町・浪江町では、多くの住民が分かれたままで、戻っていません。原発事故前のように、住民が出会える（再開できる）のは、いつの日になるのでしょうか

私は来年の3月まで、もう1年間檜葉町にお世話になることになりました。

是非、福島の被災地に来てください。お待ちしております。

【全長3kmの桜並木 この先2.3kmは帰還困難区域で立入禁止（富岡町夜ノ森）】



【仮設住宅の向こうには桜が（小池小草応急仮設住宅 南相馬市鹿島区）】

